

県政報告会を開催 (6月7日)

恒例の県政報告会を約200名の皆様にご参加いただき、開催することが出来ました。これまでの取り組みと成果、また現在の県政の課題等をご報告させていただきました。



多くの皆様にお越しいただきました



甲斐後援会長



ご来賓の首藤延岡市長



本部延岡市議会議員によるガンバロウ三唱



本日はありがとうございました

活動フォト

後援会主催「第4回ミニバレーボール交流会」



日向警察署の落成式に文教警察企業常任委員会委員長として出席



九州各県議会議員野球大会
(鹿児島県)



地域の盆踊り



高千穂町で植林活動

県政
相談

ご意見・ご要望をお気軽にお聞かせ下さい。

田口雄二 TEL/FAX: 0982-26-1945 携帯: 090-5021-7729
住所: 〒882-0004 延岡市榎山町3-841-2
e-mail: gucci-yu@ma.wainet.ne.jp

【田口雄二ホームページ】 <http://www.yuji-taguchi.com>

田口雄二

検索

宮崎県議会議員
田口ゆうじ
議会だより

きあな

第20号 平成25年8月 編集/発行 田口ゆうじ

ごあいさつ

7・8月は記録的な猛暑となりましたが、皆様いかがお過ごしでしょうか？7月には参議院選挙が行われ、今年の総選挙に引き続き、民主党は大敗をいたしました。失った信頼をとりもどすため「再び、地域から」をモットーに地道な活動をつづけ、党再生に努めて参ります。引き続き叱咤激励をよろしくお願ひします。

参院選等々で、2月議会のご報告が出来ませんでした。6月議会と併せてご報告させていただきます。



6月定例県議会一般質問

定例県議会のご報告

2月議会

2013年度から副知事2人制に、稲用博美氏（県総合政策部長）と、内田鉄也氏（初めて国土交通省から）を起用すること、2013年度一般会計当初予算5,661億円（前年比△67億円1.2%減）など50議案を可決。

※副知事の稲用博美（いなもちひろみ）氏は、延岡市出身。延岡高校、名古屋大学卒業後、県庁へ。

6月議会

6月7～25日までの19日間開催。特別職（知事など）を含む県職員の給与を削減する条例案改正や、一般会計補正予算案等の19議案を可決。補正予算55億7,600万円が追加され、総額5,716億7,600万円となる。主なものはバイオマス発電施設整備の補助（38億4,800万円）、私立保育所への保育士確保の費用（6億8,200万円）など。

〈今年度の委員会所属〉

●文教警察企業常任委員会 委員長

教育及び警察行政の推進、並びに公営企業の経営を所管しており、学校教育、警察、県が行う電気事業・工業用水道事業等について審議します。

●成長産業・TPP対策特別委員会 委員

成長産業（フードビジネス・新エネルギー等）の展開と取り組み、TPPの本県への影響とその対策、海外戦略の取り組み等について、調査研究します。

東九州道 延岡-宮崎の開通後 「高速バス 複数業者が開設検討」

東九州自動車道「延岡-宮崎間」の今年度中の全線開通を見据え、複数の交通事業者が高速バス路線の開設を検討していることが13日、分かった。県議会6月定例会の田口雄二議員(民主、延岡市)の一般質問に対し、

土持正弘総合政策部長は「明らかにした。土持部長は「高速バス路線の開設により利便性が向上し、地域間交流や経済の活性化はもちろんだと紹介。このうち、既に宮崎など方所は利用されている」とした。

与するものと期待する」と答えた。また、同区間開通後の高速バス停留所として、大田原宣治県土整備部長は本線上設置が宮崎、西都、門川など4カ所、インターチェンジの外側設置が日向、延岡の2カ所だと紹介。このうち、既に宮崎など方所は利用されているとした。

東九州自動車道情報 (当初よりさらに大幅前倒しに)

- 日向～都農間 今年度開通
- 北浦～須美江間 平成26年度開通へ
- 佐伯～蒲江間 平成27年度開通で大分・北九州まで全線開通

※平成24年度の5区間の開通で、九州内の高速道路供用率が10ポイント上昇し、61%へ。鹿児島を抜き、最下位脱出。都農～日向間(20km)の今年度開通で更に供用率が飛躍的にアップします。

※供用率とは、県内の高速道路の計画に対し、どれだけ開通したかの数値です。

県内の医療状況について

- ①県立3病院の医師数が史上最高の183名に(平成25年4月 宮崎90名、延岡55名、日南38名)
- ②県立延岡病院に新救命救急センターが竣工し、新しい医療機器とドクターヘリが離発着できるヘリポートが設置された(平成25年3月)
- ③4月から県立延岡病院に消化器内科の専門医2名が赴任
- ④延岡(7名)・日南(5名)の県立病院に看護師の地域枠採用を適用(基本的に転勤なし、給与等の差もない)
- ⑤平成24年度の県立延岡病院が黒字化、更に安心安全の医療提供と医療スタッフの環境改善に
- ⑥聖心ウルスラ学園高校に「5年一貫看護科」が、本年4月に開設
- ⑦高速道路(宮崎～延岡)の今年度全線開通で、患者搬送、宮大医学部の医師の延岡派遣が容易に

夕刊デイリー新聞(2013年6月14日)

看護師 延岡病院は7人程度



採用後の異動がない地域枠の狙い、処遇はどうか。▽予算の有効執行▽平成24年度補正で措置した経済対策のうち、県土整備部の考え方を示す。

【佐藤健司福祉保健部長】ドクターヘリ重複出動要請時対策▽宮崎大の救命救急センターに勤務するフライトドクターとチーム

【田口雄二議員】ドクターヘリ重複出動要請時対策▽宮崎大の救命救急センターに勤務するフライトドクターとチーム

▽看護師確保▽県立延岡、日南病院で導入した

「地域医療を守り育てる条例」を可決 (2013年3月)

地域医療対策特別委員会は、私が委員長を務めながら、条例制定に向けて調査研究してきました。そして県レベルでは、全国で奈良県について2番目に条例を可決。県民一人一人が、限られた医療資源を地域の財産として大切に思い、日頃から健康管理に取り組むとともに、医療提供体制をお互いに支えあう意識の醸成に努めることが必要です。「県の責務」「市町村の役割」「県民の役割」等を明確にし、「医療従事者の育成、確保」等の地域医療を守り育てるための基本事項を定めています。

6月定例県議会

民主党政権時、大きく前進した地方分権が、安部政権誕生後、著しく後退したこと。知事の逮捕まで至った公共工事の官製談合事件の反省から、一般競争入札へ移行したのに、今年度から試行とはいえ、指名競争入札が復活されること等を中心に知事の政治姿勢について質問しました。

この他、医療福祉、公共工事の予算執行、高速道路、教育等について伺いました。



一般質問(6月13日)



4月より「民主党宮崎県議団」が新たにスタート。左より、渡辺創幹事長と井上紀代子政審会長、会長の田口雄二(県庁前)

宮崎日日新聞(2013年6月14日)

業者選定データ評価 指名競争入札試行で方針



6月定例県議会は13日、一般質問2日目があり、4議員が登壇した。県が7月から試行を始める指名競争入札について、業者の選定基準を問う質問があり、県は「客観的なデータで評価し、合計点の高い順に選定する方針を導入したい」との方針を明らかにした。(5面に一般質問詳報)

【田口雄二議員(民主、延岡市区)】の質問に県土整備部の大田原宣治部長が答えた。大田原部長は土木一式工事を例に挙げ、地域性を示す工事現場までの距離や県工事の受注状況、雇用している技術者数、防災協定の加入、建設機械の保有、工事成績などの客観的なデータで評価し、合計点の高い順番に選定する方式を説明した。

試行の評価について大田原部長は「競争性、効率性、品質確保の観点から、落札率、入札手続き期間、工事成績、工事現場に近接する企業の受注状況などの項目を分析し、ほかの入札方式と比較し、建設業者へのアンケートも含め総合的に検証する」とも述べた。



【田口雄二議員(民主、延岡市区)】は、官製談合・贈収賄事件後、2008年から250万円以上の工事で県が廃止した指名競争入札を、7月から試行開始する経緯を質問。河野知事は「東日本大震災が発生し、本県は南海トラフ大地震の被害も想定されることから、日ごろから技術力が高く、地域の実情を熟知した建設業者を育成する必要がある」との思いを強くした」と説明。試行の対象が「3千万円未満の建設工事」とした理由について、大田原宣治県土整備部長は「試行の検証は、ある程度の工事件数の確保も必要のため、全入札件数の約7割、災害復旧工事の約9割を占める予定価格3千万円未満を対象にした」と答えた。

また、本年度内に開通する東九州自動車道の延岡-宮崎について「高速バス運行の予定はあるか」と質問。土持正弘総合政策部長は「現時点で複数の交通事業者が高速バス路線の開設を検討している」と明らかにした。